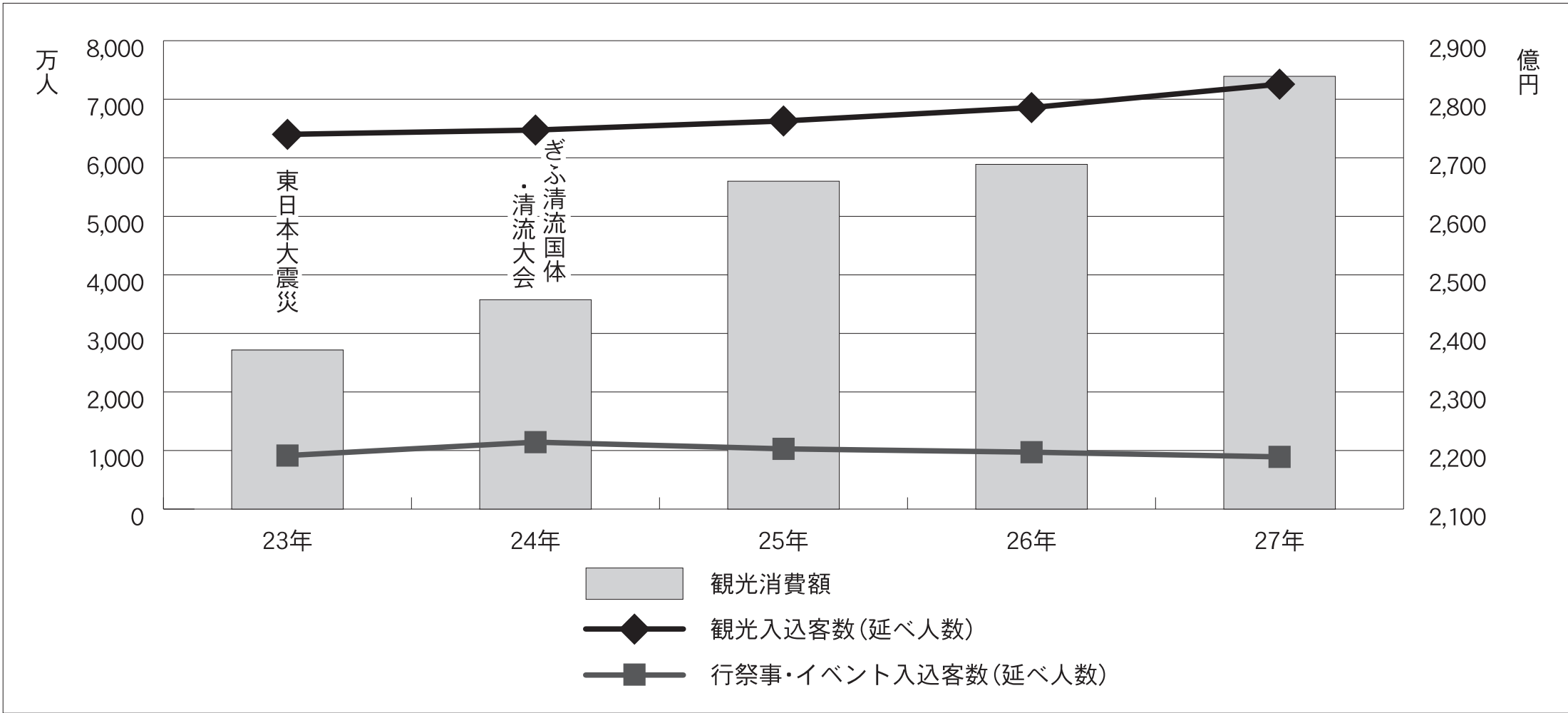


岐阜県

観光入込客数、前年比5.1%増

平成27年「観光入込客統計調査」

観光入込客数（延べ）・観光消費額の年度別推移



北陸新幹線開業など寄与

岐阜県の「観光入込客要因」（観光企画課）と統計調査によると、平成27年の入込客数（延べ人数）は前年比5.1%増の7,139万5千人で、実人数は同18.3%増の4,360万1千人。内訳は日帰り客が同19.3%増の7,139万5千人で、過去最多となった。「北陸新幹線の延伸開業（3人、宿泊客が同12.8%増の6,289千人。宿泊客のうち、外国人は同増の628万9千人。観光入込客がトップだった。）」で、北陸経由の入込客が増加したことが、泊客のうち、外国人は同増の628万9千人。観光入込客がトップだった。



絢爛豪華な高山祭

過去最多の7140万人
外国人客48%増
観光消費額も6%増

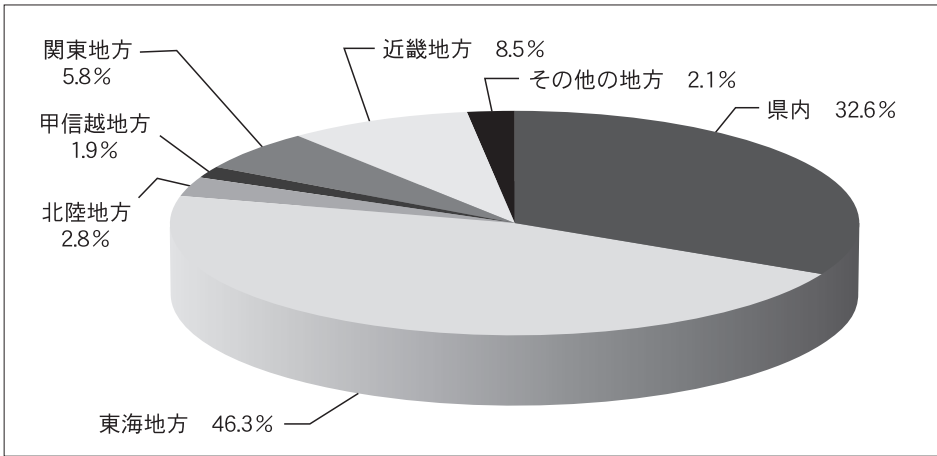
■行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：26年	
			順位	入込客数
1	長良川花火大会（岐阜市）	80.0	1	65.0
2	ぎふ信長まつり（岐阜市）	40.0	10	20.5
3	郡上おどり	32.0	5	25.1
4	大垣まつり	27.0	8	22.0
5	元気ハツラツ市（大垣市）	26.0	2	32.5
6	刃物まつり（関市）	25.0	6	25.0
	土岐美濃焼まつり	25.0	12	20.0
8	道三まつり（岐阜市）	24.0	4	30.0
	濃尾大花火（羽島市・一宮市市民花火大会）	24.0	13	16.0
10	高山祭	23.9	3	30.2

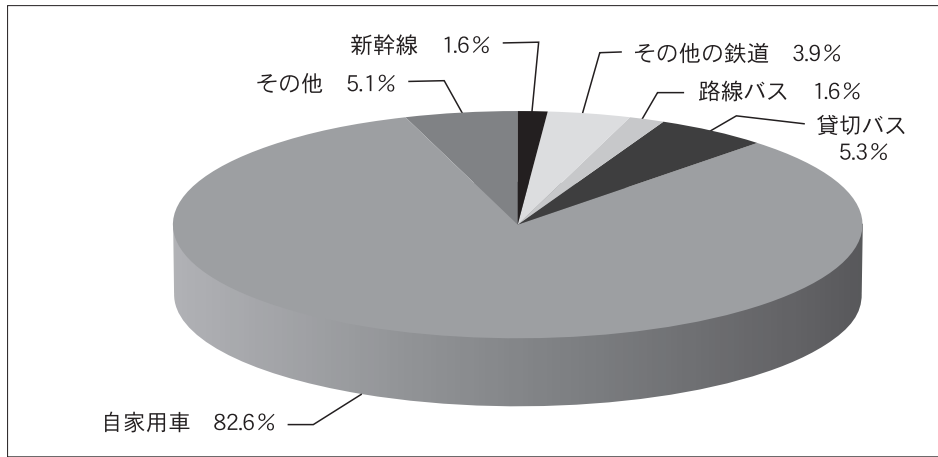
○行祭事・イベント毎の入込客数の県内トップは、昨年と同じ「長良川花火大会」（岐阜市）で80万人、2位が「ぎふ信長まつり」（岐阜市）で40万人、3位が「郡上おどり」（郡上市）で32万人となった。
○天候によって入込が大きく変動するため、前年に天候不順であった「ぎふ信長まつり」や「郡上おどり」が大幅に入込客数を伸ばして上位にランクインした一方、好天に恵まれなかった「高山祭」などが順位を下げた。

■居住地別観光入込客数



居住地別に見ると、県全体では県内客は1419万9千人（構成比32.6%）、県外客は2940万2千人（同67.4%）と、県外客が多くを占めた。特に飛騨地域では県外客の割合が80.0%と高い。県外客のうち約7割が東海地方からの観光客であり、以下近畿、関東地方が続いている。

■利用交通機関別観光入込客数



利用交通機関別に見ると、自家用車が最も多く全体の82.6%を占め、鉄道や路線バスなどの公共交通機関の割合は低い。

■観光入込客数（延べ）・観光消費額

区 分		平成27年（対前年比）	参考：平成26年
観光入込客数（延べ人数）		7,139万5千人（+5.1%）	6,791万人
行祭事・イベント入込客数（延べ人数）		967万3千人（+6.3%）	909万5千人
観光消費額	全 体	2,843億74百万円（+5.5%）	2,694億41百万円
	日 帰 り 客	1,228億16百万円（+6.3%）	1,155億77百万円
	宿 泊 客	1,615億58百万円（+5.0%）	1,538億64百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。
※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

■観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：26年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	735.8	1	591.6
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	505.2	2	500.7
3	高山市街地エリア	346.2	3	312.3
4	千代保稲荷神社（海津市）	162.9	5	175.5
5	白川郷合掌造り集落（白川村）	161.2	9	129.5
6	湯の華アイランド（可児市）	154.6	4	206.2
7	千本松原・国営木曽三川公園（海津市）	153.4	6	154.7
8	伊奈波神社（岐阜市）	149.7	7	149.7
9	世界イベント村ぎふ（岐阜メモリアルセンター）（岐阜市）	144.0	8	131.6
10	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	113.1	10	111.5

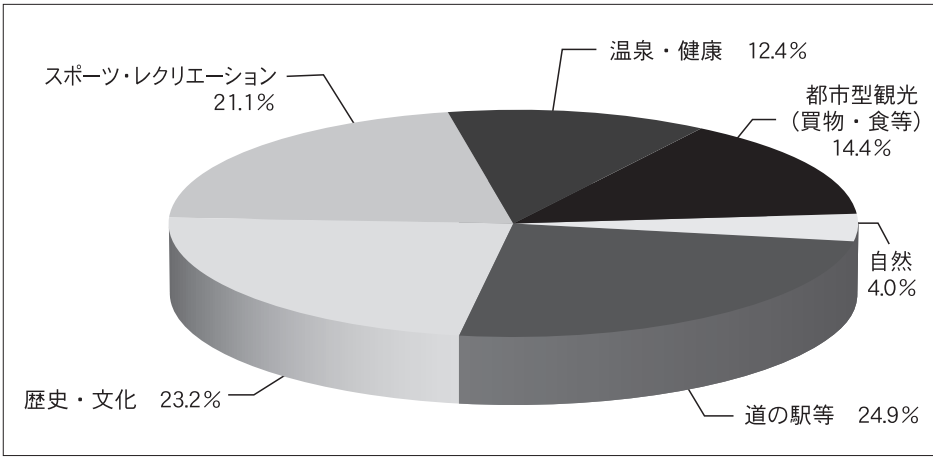
○観光地点毎の入込客数は、1位から3位までの地点の順位に変動はなかった。
○平成26年11月に増床を行った土岐プレミアム・アウトレットは好調が続いており、大幅に入込客数を伸ばした。
○平成27年3月の北陸新幹線延伸開業を追い風に、飛騨地域の主要観光地の入込客数が大きな伸びを見せており、特に、白川郷合掌造り集落は前年比2割以上の増で順位を5位に上げている。

■観光入込客数（実人数）

区 分	平成27年（対前年比）	参考：平成26年
全 体	4,360万1千人（+18.3%）	3,686万3千人
日 帰 り 客	3,731万1千人（+19.3%）	3,128万7千人
宿 泊 客 【うち外国人】	628万9千人（+12.8%） 【77万2千人（+48.0%）】	557万5千人 【52万2千人】

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊旅行統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。（平成27年外国人延べ宿泊者数 93.1万人）

■観光地分類別観光入込客数



観光地分類別に見ると、道の駅等」「歴史・文化」「スポーツ・レクリエーション」の順に多く、以下、「都市型観光（買物・食等）」「温泉・健康」「自然と続く。